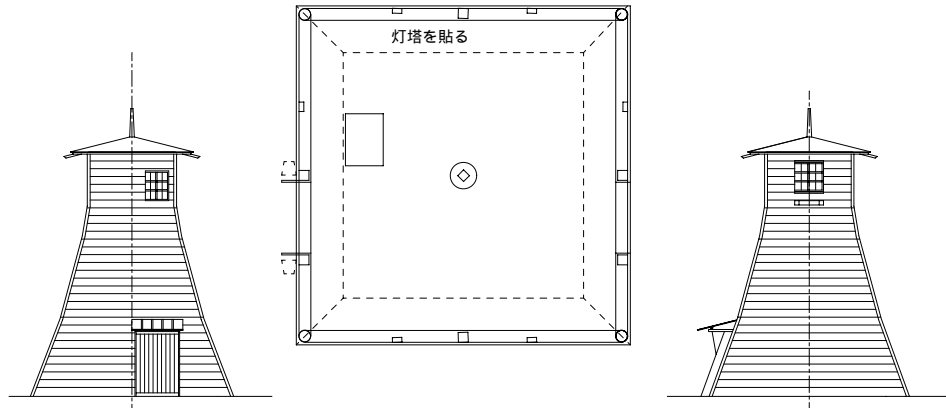


昭和39年10月4日付実測図を参考に作成



灯台の起りは慶長13年(1608)日野資信がかがり火を燃やした事が始まりで日野家により灯明台の設置等を行い代々航行船舶の安全に寄与してきた。この木造灯台は17代日野吉三が明治9年(1876)に建築したもので現存する最古。



ペーパークラフト NO.200

旧福浦灯台 Fukura S,1/100

石川県志賀町福浦(日和山)

灯台の大きさ 明治44年航路標識便覧より

高さ：建物1丈6尺(4.848m) 光り 水面から6丈6尺(19.998m)

灯塔の太さ：木造四角形 白色

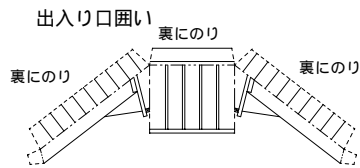
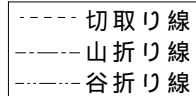
光りのとどく距離：100カテラ 5海里(約9km)

光りかた：不動白色 毎年11月15日より3月14日まで点灯を停止する

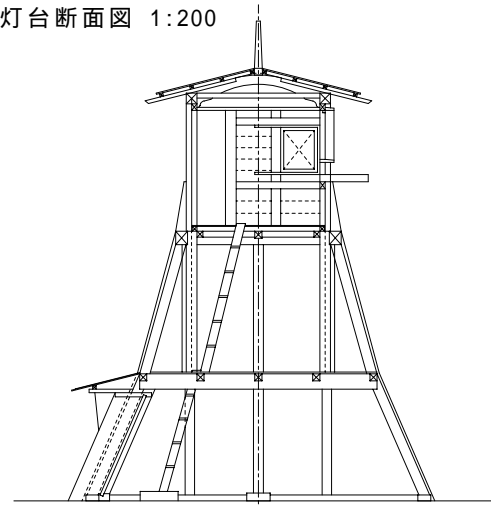
設置年月：明治38年3月(福浦村立)

組立て方

1. 折り線部は前もって線を入れておく
2. 切り取り後各パーツの形を整える
3. 灯塔を組立台紙に張付ける
4. 屋根を組立灯塔上部に張付ける
5. 出入口口囲いを灯塔に張付ける
6. 完成



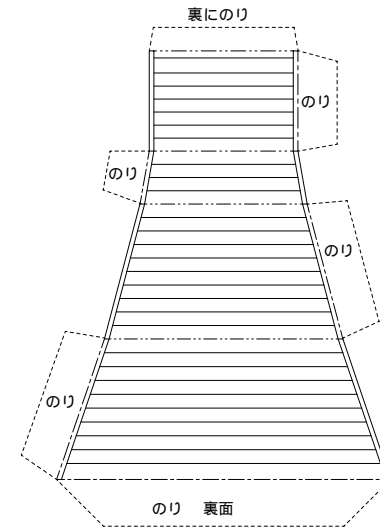
灯台断面図 1:200



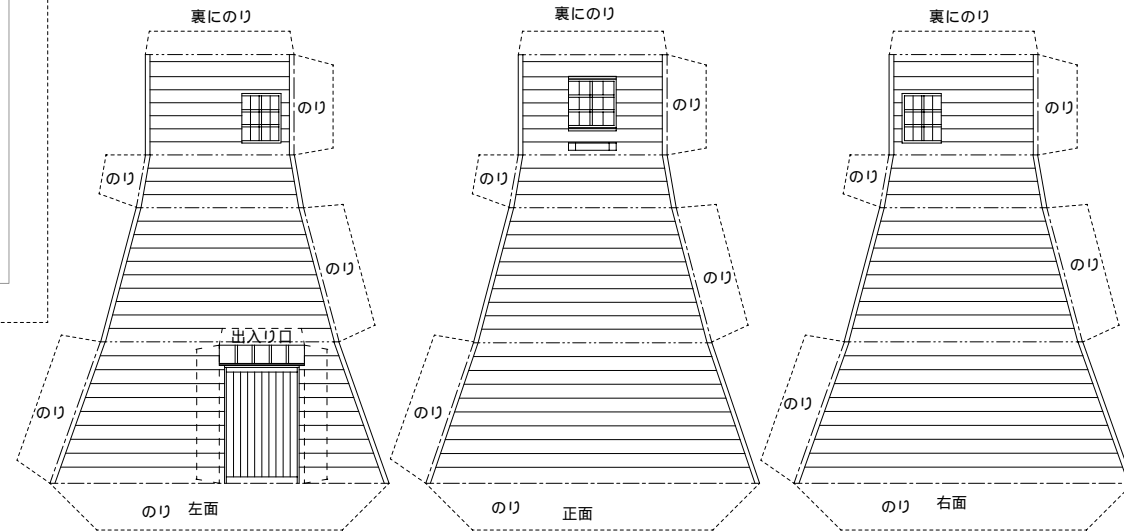
昭和39年10月4日付実測図

実測：五井 孝夫、大家 正 製図：永山 孝一

旧福浦灯台 1 / 1



灯塔



屋根

